

第12回常総市少年の主張大会 発表者及び主張概要について

期日:令和7年9月17日(水) 会場:地域交流センター

学校名・学年・氏名	テーマ・主張概要
海一附属中 1年 松尾 愛咲	「近年の宗教に対する見方について」
	自身がクリスチャンである立場から、宗教への偏見や誤解に疑問を持ち、日本の宗教観や文化の共存を踏まえ、互いを尊重し合う社会を願う主張です。
石下西中 2年 カバレロ イェン	「偏見のない明日に」
	外国人であることを理由に誤解され傷ついた経験と、支えてくれた先生との出会いから、決めつけず、偏見に苦しむ人を見過ごさない勇気を訴える主張です。
石下中 2年 横山 夢翔	「目上の人を敬うこと」
	部活動での先輩や後輩との関わりを通して、目上の人を敬うことは単なる礼儀ではなく、信頼関係と自分の成長につながる姿勢だと訴える主張です。
水海道西中 1年 中野 愛音	「挨拶は繋ぐ」
	店で助けられた経験や登校中の挨拶を通して、挨拶には国籍や言葉の壁を越えて人と人を繋ぎ、心を温かくし、地域や世界に広がる力があると伝える主張です。
水海道中 3年 柴田 陽南士	「心を合わせる大切さ」
	吹奏楽部で仲間と心を合わせて演奏した経験から、国籍や文化の違いを越え、同じ地域に暮らす仲間として理解し協力する大切さを訴える主張です。
海一附属中 2年 山口 桜里人 (優秀賞)	「そのままの君でいい」
	LGBTQ に関する講義や友人との関わりを通して、さまざまな生き方や価値観を認め、違いを否定せずそのまま受け止める大切さを伝える主張です。
石下西中 1年 ウィジェウィクラマ ナデウ(優秀賞)	「支え合う社会を目指して」
	日本で肌の色による差別を受けた経験や道徳で学んだ人種差別を通して、誰に対しても分け隔てなく接し、互いの違いを認め合う大切さを訴える主張です。
石下中 2年 生井 飛羽	「未来の僕へのプレゼント」
	時間は誰にも平等な大切な贈り物であり、目標や人との関わり、心の余白を大切に、主体的に未来の自分につながる毎日を過ごしたいという主張です。
水海道西中 2年 戸塚 心絆 (最優秀賞)	「心のバリアフリーと吃音」
	吃音による不安や周囲の反応に苦しんだ経験から、吃音を個性として受け止め、誰もが心のバリアフリーを持って自分らしく生きる大切さを訴える主張です。
水海道中 3年 染谷 東吾	「異国での出会いが教えてくれたこと」
	タイでの生活や友人、ラグビーコーチとの出会いを通して、言葉や文化の違いを越えて相手を理解しようとし、自分の世界を広げたいという主張です。